

令和8年度 みたLMO運営委員会 事業計画書

1 今年度の目標

・引き続き広報誌での情報発信を行い、インスタグラムの投稿も増やすことによって、さらに地域での認知度を高めていきたい。
・地域課題のうち、一番深刻な住民間のコミュニケーション不足をさらに解決するため、夏祭りに加えて新たに秋祭り事業を実施する。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	みた夏祭り	(4)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年8月13日	
(2) 実施場所	三田小学校グラウンド	
(3) 参加者数	600 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 三田地区町内会・自治会連合会	
4 取組内容	・夏祭りを開催し地域との繋がりや連帯感を得ることにより三田地区の絆を深める。 ・若手主催のイベントを行い、老若男女で地域の一体化を図る。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・地域の過疎化、高齢化に伴い三田地区に新たに担い手を発掘し三田地区の持続発展を目指す。 ・転居超過の歯止めの一助となるよう三田地区の活性化を図る。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・若手が三田にいたい、いずれは三田に帰ってきたいと思うような環境づくりが出来る。 ・三田の三地区の住民が一致融合し他地区の見本となるようにする。 ・高齢者が若者と触れ合い、親睦を深めることにより、若返りの効果が図られる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	子ども達の交流を深め、成長を多角的に促すための事業	(4)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>11</u> 月	
(2) 実施場所	三田保育園～安佐動物公園	
(3) 参加者数	<u>20</u> 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>三田保育園後援会(三田保育園)</u>	
4 取組内容	バスを貸し切り、みんなで安佐動物園へ移動する。 動物を視たり、ふれあいながら園内を散策し、屋外でみんなでお弁当を食べる。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・秋の自然を感じたり、様々な動物に興味を広げたりして遠足を楽しむ。 ・友達と手を繋いで歩いたり、一緒に発見を驚いたりしながら他者との関りを深める。 ・バスの中や公共の場でのマナーを知り、守ろうとする。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 児童が同じ経験をともにすることで、少ない人数ながらも感性の成長発達を促すこと、また保育園以外の未就学児にも幅広く声をかけることで、社会性を身に付けるきっかけとなる効果が見込まれる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	子どもすくすく活動ポイント事業	(4)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	広島市全域	
(3) 参加者数	100 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 三田地区青少年健全育成連絡協議会	
4 取組内容	子ども(0歳～22歳)対象に、子どもすくすくポイント手帳を発行し対象者に配布する。地域活動に参加で1ポイント、ボランティア活動など運営のお手伝いをする事で2ポイントを付与し20ポイント貯めることで商品进行贈呈。ポイントスタンプは専用のスタンプを活用するが高齢者いきいき活動ポイントのスタンプがある活動に参加した場合は、いきいきポイントスタンプを活用し、子どもポイント手帳に押印する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域の子供が、言われて手伝うのではなく、自らの意思で行動に移す仕組みとして、きっかけはポイント目的でも、子ども達が地域活動に参加する意識の向上や、地域離れ脱却のツールとして本事業を開始する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 目的がポイントであれ、子ども達が地域活動や、いきいきポイントがもらえるような高齢者向けの活動など、その場所に参加することで、新たなコミュニティが形成され、今まで見えていない光景や地域風土を学ぶことができる。また、実際に行動することで郷土愛を向上させる効果も期待できる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	みた秋祭り	(4) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 1 0 月 3 1 日 ~ 令和 8 年 1 1 月 2 1 日	
(2) 実施場所	三田小学校グラウンド、体育館、三田集会所	
(3) 参加者数	5 0 0 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>みた LMO 運営委員会</u>	
4 取組内容	・みた秋祭りを第 1 弾(10/31)と第 2 弾(11/21)で開催し地域との繋がりや連帯感を得ることにより三田地区の絆を深める。 ・みた LMO 運営委員会の構成団体に協力してもらい地域一体として毎年行える三田の印象深いイベントとなるように老若男女問わず楽しんでもらえるようなイベント開催を目指す。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・地域の過疎化、高齢化に伴い三田地区に新たに担い手を発掘し三田地区の存続を図る。 ・転居超過の歯止めの一助となるよう三田地区の活性化を図る。 ・一つの団体では難しいイベントも構成団体が協力することにより地域の団結や大きなものをつくりあげることが出来る。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・若手が三田にいたい、いずれは三田に帰ってきたいと思うような環境作りが出来る。 ・三田地区住民が融合し他地区の見本となるようにする。 ・若手もお年寄りも、みんなが楽しめて交流が出来る場を作ることができる。	

3 自主財源で実施する事業

特になし